



ロータリーを通じて 世界理解と平和を



WORLD UNDERSTANDING & PEACE THROUGH ROTARY

会長 新穂光一郎 幹事 藤川享胤 副会長・クラブ奉仕 内山喜一 職業奉仕 高岸三雄 社会奉仕 川村徳男 国際奉仕 斎藤利男 青少年奉仕 佐藤順治

出席報告：会員 71 名 出席 58 名 出席率 81.69 % 前回出席率 77.14 % 修正出席 64 名 確定出席率 91.43 %

出席報告：会員 71 名 出席 51 名 出席率 71.83 % 前回出席率 81.69 % 修正出席 65 名 確定出席率 91.55 %

会 員 ス ピ ー チ

玉 城 俊 一 君

スピーチのご指名で登壇いたしました。経済の話をしるとのご注文ですが、景気・経済については情報過多で皆さん食傷気味かと思しますので、本題に入る前に漫談で私事で恐縮ですが、私の履歴書の中の一駒を申し上げてみたいと思います。と云うのは実は今日、3月2日は私にとって忘れられない日なのです。私は今から36年前になりました。昭和21年に当時の仏領インドシナ、サイゴン、今のベトナムのホーチンミン市で捕虜になっておりました。

終戦後、私共は英・印軍24師団332フィールド・パーク・カンパニー、ガスリン、エンジニアのニコラス少佐とレビック大尉と接触するように命ぜられ、仕事はシンガポールとかイギリスの復興資材を調達したり、かき集めるお手つだいをさせられていたわけです。これは私が主計少尉と云うことだったからだと思います。このキャプテン、レビックとの出会いが又傑作で、或る日のこと英軍の将校が表でタイプライター、タイプライターと大声で云っている。仲間がお前出ろ、お前出ろと云うので学校でローヤル・イングリッシュの会話は英国人について多少習ったこともあるので、それではとのこのこ出て行って敬礼して、アイベック・ユア・パードンとやったら、又タイプライターと云うので、あわてて戻って「おいタイプライターがいるらしいぞ、もってこいよ」と云って小野少尉と2人でうやうやしくタイプライターを差し出したところ、No! No!と云ってゲラゲラ笑っている。よくよく聞いてみるとタイプライターでなくてインタープレーターで通訳はいるかとのことでした。

通訳のつもりで出て行ったのがタイプライターになってしまったので自信喪失もいいところで、かなりショックでした。それでも半年間ブロークンで何とかしのいで、現地の華僑の商社アンナンの商社から英軍からもらった前渡金でいろいろな

ものを調達・購入してやったわけです。日本軍の時代は出来るだけ安く買いたたいっていたのに今度はどうせ英国の金だと思ったので高くてもいいよと云うようなわけで、モテモテでした。英軍もかなり高いものを買わされたので、これが今の英国病の遠因になっているのではないかと心配しています。こう云うことで忙しかったのは私共3人の主計少尉だけで兵隊さんはごろごろして食糧は私共が英軍とうまく交渉してたらふく喰わせていたので楽をしていました。終戦翌年の21年2月になると英軍の動きが慌ただしくなって来た。どうも集めるものは充分集めたので、これをもってシンガポールに引き揚げられるらしいということがわかって来たので、これは一大事、英軍が帰ってしまうと支配者は仏軍になる、そうなるるとどんなことになるかわからないと云うことで我々は急拠レビックとニコラスを通し、私共はこれだけ英軍に協力したのだから南方軍の中で一番先に帰してくれるようSEACサウス・イースト・エイシア・コマンド東南アジア軍軍司令部サーマウントパッテンに上申してくれとくれぐれも頼み込んで、部下の兵隊さん達にも一番先に帰れるように取りはからっているからと説得していました。ところが英軍は僅かな人数を残してサイゴンから引き揚げってしまったわけです。3月からは仏軍の命令をもらってこれということになり、がっかりして2月末仏軍に出向いたところ、3月1日にサイゴン駅で角材(架橋材料)を貨車に積み込む作業をやれとのことです。

私が前任だったので先ず率先と云う気持で出かけて行って兵隊と一緒に角材をかついでいたら、仏軍の少尉がとんできてオフィサーやめてくれと必死になって止めるのです。初めはよく理由がわからなかったのですが、ジュネーブ協定とか戦時国際法で将校に労役を科してはいけないとのことで仲々国際法に忠実だわいと思って、その日は指

庄内に空港を建設しましょう

揮だけとって帰って来ましたが兵隊さんはかなりがっかりしていたようでしたし、私共も今迄と違う扱いにいささか憂うつになっていました。

さて翌日21年3月2日、36年前の今日です。再び私は80名ばかりの兵隊をトラックに分乗させて駅に行き一時間ばかり作業をしていたところ、又仏軍の少尉がやって来て作業をストップさせると云うので、どうしてだと聞くとゴーホームだとの返事が帰って来たので一瞬理解出来ず、キャンプへ帰るのかと聞くと、ジャバンだとの返答が来たので又自分の家が東京にあったものですから一瞬東京へ帰ってよいのかと又聞くと O.K の返事が帰って来て明日から来なくてよいと云って、彼はよかったなと握手をしてくれたので、初め半信半疑だったのが思わずニコニコして兵隊さん達に「オーイ日本に帰れるぞ」とさげびましたら一同万才をして喜んでくれました。それからトラックに分乗してキャンプに帰る途中、仏軍の少尉が突然車を止めさせて私に車から降りろと云ってウス暗いバーの中に入れと云うので、切角ここまで来てやられてはかなわないと不安に思っていたらお目出度う乾杯しよう云うことになり、ラム酒のストレートに氷を入れた奴を大きなコップになみなみとついでさあ飲めと来たわけです。如何にもフランス人らしく陽気だなあと思いました。

兵隊さんを炎天下に待たせているし、キャンプの皆にも早く報せたいし気が気でないが切角のご好意と思ってグイグイと飲んで表に出たら3月の乾期の炎天にカッと照らされた、とたんに酔いが廻ってキャンプにつくなり「オイ皆んな日本に帰れるぞ」とさげんで頭をかかえてブツ倒れて寝込んでしまいました。これが昭和21年3月2日、私の履歴書の一駒です。それにしても英軍はよく約束を守ってくれて南方復員の第一陣で航空母艦で帰してくれたわけで持ち帰り品も何一つ没収されずフリーパス40kg位いろいろなものをついで帰って来ました。英軍も仲々信義に厚いなと思いました。それにつけてもソベリヤ或いはボルネオニューギニア、満州等からの引揚げの方々のご苦労を考えると申し訳ない気がします。

尚、東南アジア最高司令官マウントバットン伯爵は現エリザベス女王の大叔父に当たり、天皇陛下がご訪英の折は面会せず宴席も欠席しました。その後一昨年でしたが I.R.A アイルランド共和国軍のテロで爆死しました。何んとか感深いものがあります。

それでは本題に入りますが、経済動向の予測は大変むずかしい処です。先月も日銀総裁の話聞いてきましたが、全く頭をかかえている状況です。世界経済は米国高金利の乱高下によって、円及び E.C 諸国の通貨が振り廻されるし、貿易摩擦は益々激しくなる。おまけにポーランド問題、中東には依然火種がころがっているし、天文学でも今年は大陽系の惑星が二回一列に並ぶから、異常気象が起こる。これが穀物相場に影響するとか、

あれやこれや考えると日航の機長ではありませんが、心身症になりそうです。然しそうも言っておれませんので、景気の現状から申し上げますと、国内経済の動きは、住宅投資が依然低迷を続け、中小企業の設備投資も一部に回復の兆しが若干みられますが、総体的に見れば停滞基調のまま推移しています。景気に波及効果の多い住宅投資は12月の新設住宅着工戸数が9万5千戸（前年同月比4.8%減）と12月としては42年（8万8千戸）につぐ低水準となり、この結果56年中の新設住宅着工戸数は115万戸と、42年以來14年ぶりに120万戸を割り込む不振が続いております。また個人消費もご承知の通り一進一退の動きが続き輸出はここに来てその増加する勢いが急速に鈍化しております。しかし大企業の設備投資は依然堅調を持続しており、企業の生産活動も在庫調整の終了を背景に持ちなおしてきており、雇用状況もまずまずというところかと思えます。然し1~3月の経済成長率はマイナス成長になる恐れもあり、景気回復の足どりはよくないと申し上げてさしつかえないと思えます。特に全国的に見ますと業種間のバラツキが多く見られ、特に米作依存地帯、公共事業依存地帯はよくないようです。ただ物価面では卸売物価、消費者物価共安定基調を維持しておりますが、問題は円相場でアメリカの金利の反騰で急速に円安になったと思うと又反騰する等乱高下が続いております。

円相場 年初 1弗=217円でスタート

2月中旬 1弗=241円（昨年8月以來の安値）

24日 1弗=232円位にもどし

3月1日 又 240円50銭となる。

次に海外の様子ですが、先ずアメリカですが、インフレはかなり終息して年率8%台と一時の2桁台から低下しているし、最近労組との賃金改定交渉もマイルドになって企業の生産性を高めるよい方向に向かって来ております。その反面不景気（リセッション）は進み、昨年10~12月はマイナス5.2%（前期比年率）又1~3月もマイナス成長は間違いないと思われます。問題はアメリカのマナーサプライ M2 = 定期+現金+CD（通貨供給量）がとび上り、これを抑えるために金利を上げざるを得ない。しかもマナーサプライ状況を毎週発表している（日本は月1回）（情報公開法に基づく）それに年明けに発表された予算教書で財政赤字が不可否となり、1984年度に赤字をなくす予定だったところが、1985年度も700億ドルもの赤字になることが判明して、益々金利先高感が強くなって来ております。又ヨーロッパでは、不景気で若者の失業者が更に増加して政治・社会問題化しつつあります。何とかして内需を拡大して雇用の場も与えたいので、金利を大巾に下げたいところですが、下げれば為替が安くなり、卸売消費者物価には、はね返りインフレにつながるということになり、そこで独・仏ともにアメリカの高金利に対する非難の合唱が起こって来ているわけ

です。そこで日本のこれからですが、予測は誠にむずかしいと思います。正直に云ってわからないと申し上げた方がよいかと思ひます。56年度の経済成長見通しでも、政府当初見込み5.3%、修正見込み4.1%、それもだめで3%台になりそうですし日本の英知を集めたシンクタンク三菱経済研究所が当初4.5%、修正3.2%、野村総研当初4.1%、修正3.4%のG.N.P成長を見込んでいます。これが56年度です。

57年度は政府見通しが5.2%、三菱3.1%、野村3.9%となっております。そこで景気浮揚策ですが財政再建と貿易摩擦解消が大命題となっている今、選択の巾はきわめて狭くなっています。昨年末に公定歩合を下げて金融をゆるめる方向にもって行ったのですが幸いその時点では大巾な円安は起らなかったのですが、不幸にしてポーランドの軍政や米国のマネーサプライ等の影響により円安に向かい、ここへ来て、ものすごい乱高下を続けております。従って昨年末辺りこの3月～4月にはもう一度公定歩合引き下げが予想されていたのですが、今の内外の金利差ではとても公定歩合引き下げには踏み切れません。又従来景気回復のきめてのもう一つは公共投資ですが、本年度分は前倒しで使い切ってしまうております。57年度予算のうち、公共投資の80%前倒しをやると云っておりますが、恐らくこれは実行されるでしょう。然し昨年同様企業は初め消化不良を起こしますし、総額ではゼロシーリングで総枠は増加していませんので後半再び息切れが出て来ると思われますし、この時点で財政再建の中で建設国債を出すか、これはまだ先の問題であります。金利や公共投資の次に景気浮揚の大きな要因になるのは個人消費ですが、春闘のペアは経営の姿勢物価の上がり具合から見て、やはりマイルドな生産性に見合ったものになると思ひます。一部に大巾賃上げによる調整インフレ的考えもあるようですが、ここでインフレを起こして物価を押し上げたらもとも子もなくなってしまうことではありません。

そこで今1兆円減税の大合唱が起こっておりますがゼロシーリングの中でその財源を何処に見い出すか仲々むずかしい問題で、今週中には何等かの方向づけが出るものと思ひます。又江崎ミッションも帰って来たことでもありますし、この1ヶ月位の動きをみまさんと確たる予測も立てにくいと考えられます。いずれにいたしましても57年度は政府見通しの5.2%は無理だと思ひます。せいぜい3%位がよいところと踏んでいます。然し救いは各企業とも低成長になれば、減量経営に徹底し、企業収益にかなり自信をもって来ております。世界の中で一番うまく行っている日本ですから、いろいろな面でたたかれると思ひますが、ここしばらく低成長に甘んじて、じっと我慢するより仕方がないのではないのでしょうか。以上で景気談義は終わりますが、最近皆さん金に対する関心が深まっておりますので一言申し上げておきます

この23日から金取引所が開設され先物取引が行われます。これは皆さんの自宅によく電話がかかって来る穀物取引のアズキ相場と同じようなもので素人は絶対変動の多い商品ですので手を出さない方がよいと思ひます。現物取引は4月頃から銀行でも間に合えばお取次ぎ販売をするようになるかと思ひますが、変動の多い商品ですから積極的に銀行はお奨めしません。金には金利もつきませんから少しずつ長期に亘って現物をお買いになって10年単位位いでみて行くのがよいでしょうと、田中貴金属の社長さんと言っておられましたので一言つけ加えておきます。

会 員 誕 生

石塚敏彦君、小松広穂君、中野清吾君、斎藤栄作君、佐藤昇君、佐藤忠君、手塚林治君、若生恒吉君

奥 様 誕 生

早坂保江(徳治)様、石川徳江様、板垣智恵子(広志)様、石塚綾子様、小松陽子(三雄)様、嶺岸豊子様、佐藤晴子(衛)様、斎藤多恵子様、松田照子様、吉田富美子様、大森えみ子様、斎藤貢(栄作)様

年 間 皆 出 席

10年間皆出席 小池繁治君
9年間皆出席 板垣俊治君
6年間皆出席 迎田 稔君
5年間皆出席 菅原辰吉君
4年間皆出席 川村徳明君
2月125%出席 3名
2月100%出席 49名

3月(やよい)の暦

1日 全国緑化運動
2日 庄内空港建設調査委員会
3日 鶴岡R.C新会員歓迎クラブフォーラム
炉辺会議・ひな祭
6日 啓蟄・皇后誕生日
7日 消防記念日・鶴岡市福祉のつどい
8日 国際婦人デー・鶴岡市三月定例議会開会
10日 公立高校入試
18日 彼岸入り
21日 春分の日
23日 世界気象デー
24日 彼岸明け
25日 電気記念日



飲み方あれこれ

丹下 誠四郎君

つき合いでどうしても逃げるのでできない酒席もあるもの。まず注意しなくてはならないものは、お腹が空いたまま飲まないこと。飲む前に必ず何か食べ物を入れておくことが大切です。この時食べるとよいのは高タンパク質のもの、これによって悪酔いをさけることができる。

さて酒を飲みはじめたら酒ばかり手だしをしない、食べながら飲むことを忘れずに。又辛いもの、塩分の多いものはだめ。酒は楽しい雰囲気の中で飲むようご注意ください！



新会員紹介

大森 健司君

本年2月8日に日本交通公社鶴岡支店長として赴任いたし、このたび伝統ある鶴岡ロータリークラブに入会させていただいた大森健司でございます。

思えば新潟地震の翌日、昭和39年6月17日に団体臨時列車の添乗員として被災のご当地を訪れ、湯之浜温泉の各旅館に分宿したとき、暖いもてなしを受けて、前日の上ノ山温泉で受けた同地震の恐怖の心を癒した記憶が昨日の出来事のごとく思い出されます。

行政と関係諸機関の2年前からの努力と熱意が実り、国鉄の重点販売地域の指定され「紅花の山形路」「あつい民情おぼこの鶴岡」をキャッチフレーズに、5月1日から8月31日まで全国的に展開されます。

私としても庄内観光の基地東北の小京都、豊饒の海の幸、豊饒の里の幸、そして全国で唯一の海水浴と夏スキーの出来る鶴岡を社の組織を活してPRし、一人でも多く観光客の誘致を計る所存です。新会員として早くロータリーを理解し社会奉仕に努力いたしますので会員各位のご指導をお願い申し上げます。

日本交通公社鶴岡支店長
 生年月日 昭和10年10月17日生 46才
 学歴 埼玉県立春日部高校卒
 ご家族 お父さん 大森 弘さん 75才
 お母さん 大森まさえさん 76才
 奥さん えみ子さん
 趣味 ゴルフ・スキー・オーディオ
 8ミリ

幹事報告

1981年サンパウロ国際大会の記念誌がまいてあります。

委員会報告

情報委員長

小松 広穂君

- 新会員歓迎クラブフォーラムと炉辺会議案内
 日時 昭和57年3月9日 午後4時
 会場 中国飯店
 登録料 2,000円

社会奉仕委員長 川村 徳男君

- 1月26日オークション決算報告
 オークション売上 70,500円
 スマイル 74,000円
 計 144,500円 スマイル会計へ

国際親睦活動委員長 横田 庄司君

11月23日台中港区R.C 歓迎決算書
 昭和57年2月23日

収入の部

会費 68,000円 会員 53名 530,000円
 家族 15名 90,000円
 西R.C 6名 36,000円
 ユネスコ 4名 24,000円

お祝い 10,000円
 スマイル 200,000円 台中港区R.C
 " 80,000円 会員欠席者@4,000×20名
 会場費 58,400円 @800×73名(例会変更)
 計 1,028,400円

支出の部

11月23日 第一イン諸費 788,000円
 11月24日 中国飯店諸費 89,600円
 おみやげ 90,000円
 貸切バス 20,000円
 計 987,600円
 差引 40,800円
 スマイル会計へ

◎ポール・ハリス・フェロー

内山喜一君

スマイル

- 川村徳男君 初孫誕生
- 藤川享胤君 アメリカへ寺院建立
- 笹原桂一君のご長女が東京女子大学及び聖心女子大学合格(2月23日)

ビジター

- (鶴岡西R.C) 斎藤吉雄君(3月2日)
- (鶴岡西R.C) 八幡慶二君、斎藤吉雄君、本間文一君
- (酒田東R.C) 和島市太郎君
 (今週の担当者 菅・佐藤)